

西脇市立西脇病院

脳神経外科

指導担当医（役職）

片山 重則（副院長、主任部長）

実習概要

実習コース

2週間コース・4週間コースどちらも可

概要

できるだけ多くの脳神経外科疾患に接していただき、脳神経外科疾患に対して抵抗なく取り組めるようにしていきたいと考えています。診断はもちろん、治療の計画および、実際の治療も経験できるようにしたいと思います。

実習スケジュール

- 朝、予定入院および前日の救急入院患者に対して、入院経過・画像診断・神経学的所見などを検討し、診断および治療方針についてディスカッションします。
- カテーテル検査およびカテーテル治療は、火曜日および水曜日の午後にあります。実際に検査・治療に加わり、検査・脳血管内治療を主治医団の一員として経験します。
- 開頭手術・穿頭手術は、月曜日および金曜日にあります。脳腫瘍・脳室腹腔シャント手術などの症例が対象になります。開頭・穿頭手術においても、実際に手術に加わることでより直接的に手術に関わることができます。
- 予定手術以外にも、緊急でカテーテル手術（クモ膜下出血・心原性脳塞栓症など）や穿頭手術（慢性硬膜下血腫など）、開頭手術（急性硬膜下血腫・脳出血など）があり、実際に手洗いをして参加していただきます。

学生へのメッセージ

脳神経外科の代表的な治療として、開頭手術と脳血管内治療があります。当院では、患者さんにとってより侵襲の少ない脳血管内治療を優先しています。低侵襲が優先される前提には、治療効果が劣らないということが必要です。これらを両立しながら、患者様に良質な医療を提供したいと考えています。